

競争と安定を両立する市場・取引環境の整備のためのアンケート調査（案）

資源エネルギー庁

2023年1月25日

○本調査（案）の注意点

- 本調査（案）は第58回電力・ガス基本政策小委員会において、本調査（案）の内容について、議論をする目的で作成したものである。委員等からの御意見を踏まえ、資源エネルギー庁において、調査内容の再検討を行うため、発電事業者や小売電気事業者に配布する実際のアンケート調査とは内容が異なる点が生じる可能性がある。

アンケート項目

1. 発電事業者向け	3
(0) アンケートの取り扱い、留意点	3
(1) 基本情報に関する質問	3
(1) - 1 : 会社概要	3
(1) - 2 : 経営状況	3
(2) 小売電気事業者等への卸売りに関する全体像（電気の販売先）	4
(3) 小売電気事業者等への卸売りに関する詳細	5
(3) - 1 : 長期契約（1年超～3年未満）	5
(3) - 2 : 1年契約	10
(3) - 3 : 短期契約（1年未満）	12
(3) - 4 : その他	16
(4) 自由記載欄	17
2. 小売電気事業者向け	18
(0) アンケートの取り扱い、留意点	18
(1) 基本情報に関する質問	18
(1) - 1 : 会社概要	18
(1) - 2 : 経営状況	19
(2) 電気の調達に関する全体像	19
(2) - 1 : 電気の調達先	19
(2) - 2 : 親 BG との関係	21
(2) - 3 : 自社電源の保有等	21
(3) 電気の調達に関する詳細	24
(3) - 1 : 長期契約（1年超～3年未満）	24
(3) - 2 : 1年契約	29
(3) - 3 : 短期契約（1年未満）	32
(3) - 4 : その他	37

(4) 需要家に提供する小売電気料金メニューの形態.....	38
(5) 自由記載欄.....	38

1. 発電事業者向け

(0) アンケートの取り扱い、留意点

- 本アンケートの結果は個社が特定できない形で、審議会等で公開することがあります。また、公開の際、各社の回答を単純平均するだけでなく、販売電力量等で重み付けを行った上で集約を行い、公開を行う可能性もあります。自由記入欄については、公開を行う場合は、個社名を削除するなど、個社が特定されないよう、処理を行います。
- 実績を回答する質問（「(2) 小売電気事業者等への卸売りに関する全体像（電気の販売先）」等）については、2021年度1年間の取引実績をベースに御回答ください。

(1) 基本情報に関する質問

(1) — 1 : 会社概要

以下の各項目について、御回答ください。

事業者名		
株主とその持分比率 (※)	〇〇株式会社 (〇%)、△△株式会社 (△%)	
発電所立地区域	北海道／東北／～～～／沖縄	
回答作成担当者	所属部署	
	役職	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	

【回答における留意点】

(※) 持分比率が10%以上の株主の事業者名等を全て御回答ください。

(1) — 2 : 経営状況

以下の各項目について、御回答ください。

純資産額		円
売上 (2021年度)		円
営業利益 (2021年度)		円
当期純利益・損失(2021年度)		円
2022年度収支見込(純利益・損失)	黒字の見込み (前年度よりも利益増) / 黒字の見込み (前年度よりは利益減) / 赤字の見込み (前年度よりも損失減) / 赤字の見込み (前年度よりも損失増)	

【回答における留意点】

(※) 発電事業者と小売電気事業者が一体の場合や、他の事業を営んでいる場合でも、発電事業に限定することなく、会社全体の売上等を御回答いただく形で構いません。

(2) 小売電気事業者等への卸売りに関する全体像（電気の販売先）

電気の販売先（社内取引含む。調整力を除く。）に関して、①足下の契約実績と、②安定的な電源投資・燃料調達や発電収益最大化のための貴社の希望のポートフォリオについて、それぞれの割合（kWh ベース）を御回答ください。

契約期間（※1、※2）	契約先	①実績（※5）	②希望（※5）
10年以上	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
5年以上～10年未満	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
3年以上～5年未満	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
1年超～3年未満	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
1年	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
3か月超～1年未満	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
前々日～3か月以内	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
スポット市場、時間前市場	グロスビディング、自己約定分	%	%
	その他（グロスビディング以外の通常の売買）	%	
契約期間が決まっていない（※3）	グループ内の事業者、社内向け	%	%
	グループ外の事業者向け	%	
合計		100%	100%

【回答における留意点】

(※1) 将来に向けて残存する契約期間でなく、契約当初の契約期間をベースに御回答ください。

(※2) 売主・買主双方で異議がなければ契約期間が自動延長されるような契約の場合でも、自動延長が行われないものと見なして、計上してください。また、過去すでに何度か自動延長をしていたとしても、自動延長は考慮せずに御回答ください。

例) 契約期間が1年の契約に、自動延長を行う条項が入っている場合、契約期間は1年として計上。また、過去すでに3回自動延長をしていたとしても、契約期間は4年でなく、1年として計上。

(※3) 契約期間が明確でない場合は、「契約期間が決まっていない」に計上してください。また、社内の小売部門向けの卸売り（自社需要のための自社電源の利用）について、社内での取引契約期間が明示されていない場合も「契約期間が決まっていない」に計上してください。

(※4) 先物市場での取引や差金契約等でヘッジしている場合は、現物はスポット市場での販売となりますが、契約の期間は先物市場での取引や差金契約等の契約期間で計上してください。現物のヘッジ目的で行わない先物取引については、割合に含めないでください。

例) 先物市場で年間商品を売り、1年間スポット市場で現物を売った場合、取引期間は1年間とカウント。

(※5) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(※6) 相手先が特定されない取引（先渡取引、ベースロード市場等）は「グループ外の事業者向け」に計上してください。

(3) 小売電気事業者等への卸売りに関する詳細

(3) — 1 : 長期契約（1年超～3年未満）

※本調査(案)においては、「長期契約（1年超～3年未満）」として設問を作成しているが、同様の設問を「3年以上～5年未満」、「5年以上～10年未満」、「10年以上」の期間においても実施。

(3) — 1 — 1 :

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）の実績があるか否か御回答ください。

ある／なし

(3) - 1 - 2 :

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の貴社の取引方法について、取引実績があれば（「(3) - 1 - 1」の回答が「ある」であれば）、取引実績の割合（kWhベース）を御回答ください。また、それぞれの取引方法について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その取引方法の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望（今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」）を御回答ください。

取引方法（※1、※2）	取引実績（割合）（※3）	希望
個別交渉による相対契約	%	○/×
自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約	%	○/×
JEPX 先渡市場	%	○/×
ベースロード市場	%	○/×
ブローカーを介さない先物取引（電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（先物取引。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（現物取引）	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引方法かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

それぞれの取引方法または長期契約（1年超～3年未満）全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。（自由記入）

--

【回答における留意点】

（※1） JEPX 先渡市場や先物市場は1年超～3年未満の契約期間の商品は存在していませんが、複数の商品を同時に売買して、実質的に複数年契約の取引をしていたり（例：2023年度年間物の商品と2024年度年間物の商品を同時に購入して、実質的に2年間の電力の卸売りを確約する取引を行っている、等）、こういった取引にニーズがあれば、御回答ください。

（※2） 自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約やベースロード市場は1年超～3年未満の契約期間の商品は存在していないため、取引実績は0%となります。

が、希望の欄については、これらの商品が存在していると仮定して、希望の有無を御回答ください。

(※3) 割合を合計すると 100%になるように御回答ください。

(3) — 1 — 3 :

(3)—1—2の取引方法にかかわらず、数量や価格の条件について、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの条件について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その条件の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引条件 (※1)	取引実績 (割合) (※2)	希望
確定数量 (ベース商品)、固定価格	%	○/×
確定数量 (ミドル商品)、固定価格	%	○/×
確定数量 (ベース商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
確定数量 (ミドル商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
変動数量、固定価格	%	○/×
変動数量、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引条件かを以下に御回答ください。(自由記入)

それぞれの取引条件または長期契約(1年超～3年未満)全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

【回答における留意点】

(※1) ベース商品とミドル商品について、それぞれ以下のような形の商品を想定しています。または、これらの例に外れるとしても、社内定義や区分が別途存在していれば、それに即して御回答いただく形でも構いません。

ベース商品: 24時間連続の受渡し商品。平日や休日だけに限定したベース商品に関しても、この区分とする。

ミドル商品: 1日のうち、12時間程度連続の受渡し商品(例えば8時から20時までの電力受渡し等)。平日や休日だけに限定したミドル商品に関しても、この区分とする。

(※2) 割合を合計すると 100%になるように御回答ください。

(3) - 1 - 4 :

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶニーズがあるか等について、御回答ください。

質問	回答
小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶニーズがあるか	○/×
電源を特定するニーズがあるか否か	以下の3つのいずれかに○を記入
a) 電源を特定して、長期契約を結びたい	
b) 電源を特定せず、長期契約を結びたい	
c) 契約の相手先や契約条件（価格、期間等）、電源種によりケースバイケース	

(3) - 1 - 5 :

(3) - 1 - 4の一番上の行の質問について、「○」と回答した場合、以下の設問に御回答ください。

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶニーズがある理由	回答
電源投資や維持のため	○/×
燃料調達（特に長期契約による燃料の調達）のため	○/×
その他	○/×

上記の質問の「その他」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような理由かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

(3) - 1 - 6 :

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の課題について、課題の大きさに従って、「大」・「中」・「小」・「課題ではない」から御回答ください。

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の課題	回答
一定の価格フォーミュラで契約することのリスク（電源脱落時等）が存在	
相手方の与信が低い	
小売電気事業者側に契約のニーズが無い（長期契約の希望すらない）	
小売電気事業者から長期契約の希望は聞くが、具体的な条件交渉に至らない	
具体的な契約交渉に至ったが、小売電気事業者と契約の条件が見合わない（以下のa～dのそれぞれの要素について、御回答ください）	
a) 契約量（相手方の希望の数量が少なすぎる、等）	
b) 価格（相手方の希望の価格が低すぎる、等）	
c) 契約期間（相手方の希望の契約期間が長すぎる・短すぎる、等）	
d) その他の契約条項	
その他	

上記の質問の「d) その他の契約条項」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような契約条項かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

上記の質問の「その他」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような課題かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

上記の質問について、契約内容や条件によって課題が異なりうる等、留意すべき点があれば以下に御回答ください。（自由記入）

--

(3) - 1 - 7 :

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の課題について、課題を解決するための手段として思いつくことがあれば、以下に御回答ください。（自由記入）

--

(3) - 1 - 8 :

小売電気事業者と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際に、その契約ロットに下限（kWベース）があれば、御回答ください。また、下限以下の契約ロットで契約を締結できない理由があれば、御回答ください。

質問	回答
下限	kW
下限以下の契約ロットで契約を締結できない理由	(自由記入)

(3) - 2 : 1年契約

(3) - 2 - 1 :

小売電気事業者と1年契約の実績があるか否か御回答ください。

ある/なし

(3) - 2 - 2 :

小売電気事業者と1年契約を結ぶ際の貴社の取引方法について、取引実績があれば(「(3) - 2 - 1」の回答が「ある」であれば)、取引実績の割合（kWhベース）を御回答ください。また、それぞれの取引方法について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その取引方法の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望（今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」）を御回答ください。

取引方法	取引実績（割合）（※）	希望
個別交渉による相対契約	%	○/×
自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約	%	○/×
JEPX 先渡市場	%	○/×
ベースロード市場	%	○/×
ブローカーを介さない先物取引（電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（先物取引。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（現物取引）	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引方法かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

それぞれの取引方法または1年契約全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(3) — 2 — 3 :

(3) — 2 — 2の取引方法にかかわらず、数量や価格の条件について、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの条件について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その条件の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引条件 (※1)	取引実績 (割合) (※2)	希望
確定数量 (ベース商品)、固定価格	%	○/×
確定数量 (ミドル商品)、固定価格	%	○/×
確定数量 (ベース商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
確定数量 (ミドル商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
変動数量、固定価格	%	○/×
変動数量、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引条件かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

それぞれの取引条件または1年契約全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※1) ベース商品とミドル商品について、それぞれ以下のような形の商品を想定しています。または、これらの例に外れるとしても、社内定義や区分が別途存在していれば、それに即して御回答いただく形でも構いません。

ベース商品:24時間連続の受渡し商品。平日や休日だけに限定したベース商品に関しても、この区分とする。

ミドル商品：1日のうち、12時間程度連続の受渡し商品（例えば8時から20時までの電力受渡し等）。平日や休日だけに限定したミドル商品に関しても、この区分とする。

（※2）割合を合計すると100%になるように御回答ください。

（3）－2－4：

（3）－2－2に関連して、特に、内外無差別な卸売りの方法として、主流になってきている、①個別交渉による相対契約、②自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約、③ブローカー市場の活用について、その取引方法を採用しているかや、評価等を御回答ください。自社で採用していない卸売りの方法についても御回答ください。また、旧一般電気事業者以外の事業者についても、御回答ください。

①個別交渉による相対契約	評価
この取引方法を自社で採用しているか	している／していない
（している場合）その理由	（自由記入）
（していない場合）この契約方法に課題はあるか	（自由記入）
②自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約	評価
この取引方法を自社で採用しているか	している／していない
（している場合）その理由	（自由記入）
（していない場合）この契約方法に課題はあるか	（自由記入）
③ブローカー市場の活用	評価
この取引方法を自社で採用しているか	している／していない
（している場合）その理由	（自由記入）
（していない場合）この契約方法に課題はあるか	（自由記入）

（3）－3：短期契約（1年未満）

（3）－3－1：

小売電気事業者と1年契約の実績があるか否か御回答ください。

ある／なし

(3) - 3 - 2 :

小売電気事業者と短期契約（1年未満）を結ぶ際の貴社の取引方法について、取引実績があれば（「(3) - 3 - 1」の回答が「ある」であれば）、取引実績の割合（kWh ベース）を御回答ください。また、それぞれの取引方法について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その取引方法の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望（今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」）を御回答ください。

取引方法	取引実績（割合）（※）	希望
個別交渉による相対契約	%	○/×
自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約	%	○/×
JEPX 先渡市場	%	○/×
ベースロード市場	%	○/×
ブローカーを介さない先物取引（電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（先物取引。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（現物取引）	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引方法かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

それぞれの取引方法または短期契約（1年未満）全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。（自由記入）

--

【回答における留意点】

（※）割合を合計すると 100%になるように御回答ください。

(3) - 3 - 3 :

(3) - 3 - 2の取引方法にかかわらず、数量や価格の条件について、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの条件について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その条件の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引条件(※1)	取引実績(割合)(※2)	希望
確定数量(ベース商品)、固定価格	%	○/×
確定数量(ミドル商品)、固定価格	%	○/×
確定数量(ベース商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
確定数量(ミドル商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
変動数量、固定価格	%	○/×
変動数量、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引条件かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

それぞれの取引条件または短期契約(1年未満)全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※1) ベース商品とミドル商品について、それぞれ以下のような形の商品を想定していません。または、これらの例に外れるとしても、社内定義や区分が別途存在していれば、それに即して御回答いただく形でも構いません。

ベース商品: 24時間連続の受渡し商品。平日や休日だけに限定したベース商品に関しても、この区分とする。

ミドル商品: 1日のうち、12時間程度連続の受渡し商品(例えば8時から20時までの電力受渡し等)。平日や休日だけに限定したミドル商品に関しても、この区分とする。

(※2) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(3) — 3 — 4 :

特に燃調調達の最終的な意思決定のタイミングである実需給の3か月程度前のタイミングにおいて、電力の取引を活性化することが重要だと考えられます。①ブローカー市場（現物取引、先物取引両方）、②JEPX 先渡市場、先物市場（ブローカーを介さないものに限る。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由。）の3つについて、それぞれどのような課題や改善策があると考えますか。課題の大きさに従って、「大」・「中」・「小」・「課題ではない」から御回答いただくとともに、課題の改善策について、以下に御回答ください。

① ブローカー市場（現物取引、先物取引両方）

課題	課題の大きさ	改善策（自由記入）
流動性が低い		
価格シグナルの信頼性が低い		
手数料等（※1）が高い		
預託金・証拠金等（※2）が高い		
希望する商品設計（取引期間、ベース商品・ミドル商品等）がない		
会計上の問題（ヘッジ会計が扱えない等）がある		
その他（自由記入）	（その他の課題がある場合、具体的な課題と、課題の大きさ、改善策について、御回答ください。）	

② JEPX 先渡市場

課題	課題の大きさ	改善策（自由記入）
流動性が低い		
価格シグナルの信頼性が低い		
手数料等（※1）が高い		
預託金・証拠金等（※2）が高い		
希望する商品設計（取引期間、ベース商品・ミドル商品等）がない		
会計上の問題（ヘッジ会計が扱えない等）がある		
その他（自由記入）	（その他の課題がある場合、具体的な課題と、課題の大きさ、改善策について、御回答ください。）	

③ 先物市場（ブローカーを介さないものに限る。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由。）

課題	課題の大きさ	改善策（自由記入）
流動性が低い		
価格シグナルの信頼性が低い		
手数料等（※1）が高い		
預託金・証拠金等（※2）が高い		
希望する商品設計（取引期間、ベース商品・ミドル商品等）がない		
会計上の問題（ヘッジ会計が扱えない等）がある		
その他（自由記入）	（その他の課題がある場合、具体的な課題と、課題の大きさ、改善策について、御回答ください。）	

【回答における留意点】

（※1）電力取引や金融取引そのものに係る代金以外に追加で取引所等に支払いが必要な代金を「手数料等」と記載しています。

（※2）取引の担保等のために、一時的に取引所等に預け入れ、取引の決済後には返済される代金を「預託金・証拠金等」と記載しています。（※1）に記載の「手数料等」とは異なります。

（3）—4：その他

個別交渉による相対契約や自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約の個別の契約条項について、以下の質問に御回答ください。

質問	回答
① 小売電気事業者の購入量について、その小売電気事業者の小売需要等を購入上限として設定している。	○/×
② 上記が○の場合、その理由は何か。	（自由記入）
③ 転売禁止条項をいれている。	○/×
④ 上記が○の場合、その理由は何か。	（自由記入）
⑤ エリア内の小売電気事業者のみに販売をしている。または、エリア外にも販売はしているものの、販売量を制限している。	○/×
⑥ 上記が○の場合、その理由は何か。	（自由記入）
⑦ その他の契約条項について、御意見があれば御記入ください。	（自由記入）

(4) 自由記載欄

全体を通じて、何か御意見があれば、御回答ください。

--

2. 小売電気事業者向け

(0) アンケートの取り扱い、留意点

- 本アンケートの結果は個社が特定できない形で、審議会等で公開することがあります。また、公開の際、各社の回答を単純平均するだけでなく、販売電力量等で重み付けを行った上で集約を行い、公開を行う可能性もあります。自由記入欄については、公開を行う場合は、個社名を削除するなど、個社が特定されないよう、処理を行います。
- 実績を回答する質問（「(2) — 1 : 電気の調達先」等）については、2021 年度 1 年間の取引実績をベースに御回答ください。

(1) 基本情報に関する質問

(1) — 1 : 会社概要

以下の各項目について、御回答ください。

事業者名		
小売営業区域	北海道／東北／～～／沖縄	
BG の形態	単独 BG／親 BG／子 BG／仮想 BG における親 BG／仮想 BG における子 BG (※)	
子 BG (仮想 BG 含む) の場合 (親 BG の事業者名)		
回答作成担当者	所属部署	
	役職	
	氏名	
	電話番号	
	E-mail	

【回答における留意点】

(※) 託送供給契約は単独で契約をしているものの、他の小売電気事業者に電気の調達や需給管理を委託している／されている等、実態として、BG と類似した形態の場合、「仮想 BG における親 BG」や「仮想 BG における子 BG」を選択してください。

(1) — 2 : 経営状況

以下の各項目について、御回答ください。

純資産額		円
売上 (2021 年度)		円
営業利益 (2021 年度)		円
当期純利益・損失(2021 年度)		円
2022 年度収支見込 (純利益・損失)	黒字の見込み (前年度よりも利益増) / 黒字の見込み (前年度よりは利益減) / 赤字の見込み (前年度よりも損失減) / 赤字の見込み (前年度よりも損失増)	

【回答における留意点】

(※) 発電事業者と小売電気事業者が一体の場合や、他の事業を営んでいる場合でも、小売事業に限定することなく、会社全体の売上等を御回答いただく形で構いません。

(2) 電気の調達に関する全体像

(2) — 1 : 電気の調達先

電気の調達先 (自社電源含む。インバランスを除く。) に関して、①足下の契約実績と、②安定的な小売電気事業や収益最大化のための貴社の希望のポートフォリオについて、それぞれの割合 (kWh ベース) を御回答ください。

契約期間 (※ 1、 ※ 2)	契約先	② 実績 (※ 5)	②希望 (※ 5)
10 年以上	発電事業者 (FIT・FIP 事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP 事業者	%	
	親 BG	%	
	その他 (他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
5 年以上 ～ 10 年未 満	発電事業者 (FIT・FIP 事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP 事業者	%	
	親 BG	%	
	その他 (他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
3 年以上 ～ 5 年未 満	発電事業者 (FIT・FIP 事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP 事業者	%	
	親 BG	%	
	その他 (他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
1 年超 ～ 3 年未満	発電事業者 (FIT・FIP 事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP 事業者	%	

契約期間 (※1、 ※2)	契約先	②実績(※ 5)	②希望(※ 5)
	親BG	%	
	その他(他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
1年	発電事業者(FIT・FIP事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP事業者	%	
	親BG	%	
	その他(他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
3か月超 ～1年未 満	発電事業者(FIT・FIP事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP事業者	%	
	親BG	%	
	その他(他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
前々日～ 3か月以 内	発電事業者(FIT・FIP事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP事業者	%	
	親BG	%	
	その他(他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
スポット 市場、時間 前市場	グロスビディング	%	%
	その他(グロスビディング以外の通常の取引)	%	
契約期間 が決まっ ていない (※3)	発電事業者(FIT・FIP事業者を除く)	%	%
	FIT・FIP事業者	%	
	親BG	%	
	その他(他の小売電気事業者、トレーダー等)	%	
合計		100%	100%

【回答における留意点】

(※1) 将来に向けて残存する契約期間でなく、契約当初の契約期間をベースに御回答ください。

(※2) 売主・買主双方で異議がなければ契約期間が自動延長されるような契約の場合でも、自動延長が行われないものと見なして、計上してください。また、過去すでに何度か自動延長をしていたとしても、自動延長は考慮せずに御回答ください。

例) 契約期間が1年の契約に、自動延長を行う条項が入っている場合、契約期間は1年として計上。また、過去すでに3回自動延長をしていたとしても、契約期間は4年でなく、1年として計上。

(※3) 契約期間が明確でない場合は、「契約期間が決まっていない」に計上してください。また、社内の発電部門からの調達(自社電源の利用)について、社内での取引契約期間が明示されていない場合も「契約期間が決まっていない」に計上してください。

(※4) 先物市場での取引や差金契約等でヘッジしている場合は、現物はスポット市場での調達となりますが、契約の期間は先物市場での取引や差金契約等の契約期間で計上してください。現物のヘッジ目的で行わない先物取引については、割合に含めないでください。

例) 先物市場で年間商品を買ひ、1年間スポット市場で現物を買った場合、取引期間は1年間とカウント。

(※5) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(※6) 相手先が特定されない取引 (JEPX 先渡取引、ベースロード市場、等) は「その他 (トレーダー等)」に計上してください。

(2) — 2 : 親 BG との関係

子 BG の場合や、仮想 BG (託送供給契約は単独で契約をしているものの、他の小売電気事業者に電気の調達や需給管理を委託している/されている等、実態として、BG と類似した形態の場合) における子 BG の場合、以下の質問に御回答ください。

質問	回答
① 親 BG (仮想 BG 含む) に電気の調達を全てもしくは大部分を委託しているか	委託している/委託していない
② 親 BG (仮想 BG 含む) がどこから電気の調達をしているのか把握しているか	全て把握している/一部把握している/把握していない
③ (親 BG (仮想 BG 含む) から電気を調達している場合) 親 BG との契約期間はどの程度か	10 年以上/5 年以上~10 年未満/3 年以上~5 年未満/1 年超~3 年未満/1 年/3 か月超~1 年未満/3 か月以内/契約期間は決まっていない

(2) — 3 : 自社電源の保有等

(2) — 3 — 1 :

自社電源の保有等 (※) を行っているか、行う意思はあるか御回答ください。

質問	回答
自社電源の保有等を行っているか	行っている/行っていない
今後、自社電源の保有等を新たに/追加的に、行う意思があるか	ある/ない

【回答における留意点】

(※) 自社電源を単独で保有するだけでなく、特別目的会社 (SPC) を設立し、出資を行ったり、発電事業者と長期的なオフテイク契約を締結することにより、発電事業の投資回収のリスクを一部負う契約についても含むものとします。

(2) - 3 - 2 :

自社電源の保有等 (※) を新たに／追加的にする場合、保有等をしたい電源種について、御回答ください。

新たに保有等したい電源種		回答
水力発電	一般	○/×
	揚水式	○/×
火力	石炭	○/×
	LNG	○/×
	石油	○/×
	LPG	○/×
	その他ガス	○/×
	歴青質混合物	○/×
	その他	○/×
原子力発電所		○/×
新エネルギー等発電所	風力	○/×
	太陽光	○/×
	地熱	○/×
	バイオマス	○/×
	廃棄物	○/×
蓄電池		○/×
その他		○/×

上記の質問の「その他」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような電源かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※) 自社電源を単独で保有するだけでなく、特別目的会社 (SPC) を設立し、出資を行ったり、発電事業者と長期的なオフテイク契約を締結することにより、発電事業の投資回収のリスクを一部負う契約についても含むものとします。

(2) - 3 - 3 :

自社電源の保有等(※)を新たに／追加的にする場合、自社電源の保有等の意思決定の阻害となる要因について、寄与度の大きさに従って、「大」・「中」・「小」・「課題ではない」から御回答ください。

自社電源の保有等の意思決定の阻害となる要因	回答
政策的支援が少ない	
電力関係の制度変更が多い	
容量市場で得られる価格が低い、将来の価格が不透明	
投資したい電源が脱炭素電源ではないため、カーボンニュートラルとの関係で、投資の意思決定ができない	
資金調達ができる見通しが無い	
自社の小売販売量やシェアが下がっている	
将来の日本全体や各エリアの需要の見通しが不透明	
世界情勢が不安定（ロシアのウクライナ侵攻等）	
燃料市場価格（JKM等）に予見性がない	
電力市場価格（スポット価格等）に予見性がない	
新たに電源投資を行う人材やノウハウがない	
その他	

上記の質問の「その他」について、課題の大きさを回答した場合、具体的にどのような課題かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

【回答における留意点】

(※) 自社電源を単独で保有するだけでなく、特別目的会社（SPC）を設立し、出資を行ったり、発電事業者と長期的なオフテイク契約を締結することにより、発電事業の投資回収のリスクを一部負う契約についても含むものとします。

(2) — 3 — 4 :

今後自社電源の保有等 (※) を行うつもりはない場合、その理由について、御回答ください (複数回答可)。

自社電源を保有するつもりがない理由	回答
他の発電事業者等から十分な電気を調達できており、自社電源を保有する必要が無い	○/×
アセットライトな経営をしたい (アセットヘビーだと固定費の回収等にリスクがある)	○/×
発電事業を行わないというのが、小売電気事業を開始した当初からの会社の経営方針のため	○/×
その他	○/×

上記の質問の「その他」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような理由かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※) 自社電源を単独で保有するだけでなく、特別目的会社 (SPC) を設立し、出資を行ったり、発電事業者と長期的なオフテイク契約を締結することにより、発電事業の投資回収のリスクを一部負う契約についても含むものとします。

(3) 電気の調達に関する詳細

(3) — 1 : 長期契約 (1 年超 ~ 3 年未満)

※本調査 (案) においては、「長期契約 (1 年超 ~ 3 年未満)」として設問を作成しているが、同様の設問を「3 年以上 ~ 5 年未満」、「5 年以上 ~ 10 年未満」、「10 年以上」の期間においても実施。

(3) — 1 — 1 :

発電事業者等と長期契約 (1 年超 ~ 3 年未満) の実績があるか否か御回答ください。

ある/なし

(3) - 1 - 2 :

発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の貴社の取引方法について、取引実績があれば（「(3) - 1 - 1」の回答が「ある」であれば）、取引実績の割合（kWhベース）を御回答ください。また、それぞれの取引方法について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その取引方法の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望（今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」）を御回答ください。

取引方法（※1、※2）	取引実績（割合）（※3）	希望
個別交渉による相対契約	%	○/×
発電事業者独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約	%	○/×
JEPX 先渡市場	%	○/×
ベースロード市場	%	○/×
ブローカーを介さない先物取引（電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（先物取引。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（現物取引）	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引方法かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

それぞれの取引方法または長期契約（1年超～3年未満）全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。（自由記入）

--

【回答における留意点】

（※1） JEPX 先渡市場や先物市場は1年超～3年未満の契約期間の商品は存在していませんが、複数の商品を同時に売買して、実質的に複数年契約の取引をしていたり（例：2023年度年間物の商品と2024年度年間物の商品を同時に購入して、実質的に2年間の電力の卸売りを確約する取引を行っている、等）、こういった取引にニーズがあれば、御回答ください。

（※2） 自社独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約やベースロード市場は1年超～3年未満の契約期間の商品は存在していないため、取引実績は0%となります。

が、希望の欄については、これらの商品が存在していると仮定して、希望の有無を御回答ください。

(※3) 割合を合計すると 100%になるように御回答ください。

(3) — 1 — 3 :

(3)—1—2の取引方法にかかわらず、数量や価格の条件について、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの条件について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その条件の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引条件 (※1)	取引実績 (割合) (※2)	希望
確定数量 (ベース商品)、固定価格	%	○/×
確定数量 (ミドル商品)、固定価格	%	○/×
確定数量 (ベース商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
確定数量 (ミドル商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
変動数量、固定価格	%	○/×
変動数量、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引条件かを以下に御回答ください。(自由記入)

それぞれの取引条件または長期契約(1年超～3年未満)全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

【回答における留意点】

(※1) ベース商品とミドル商品について、それぞれ以下のような形の商品を想定しています。または、これらの例に外れるとしても、社内定義や区分が別途存在していれば、それに即して御回答いただく形でも構いません。

ベース商品: 24時間連続の受渡し商品。平日や休日だけに限定したベース商品に関しても、この区分とする。

ミドル商品: 1日のうち、12時間程度連続の受渡し商品(例えば8時から20時までの電力受渡し等)。平日や休日だけに限定したミドル商品に関しても、この区分とする。

(※2) 割合を合計すると 100%になるように御回答ください。

(3) - 1 - 4 :

発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶニーズがあるか等について、御回答ください。

質問	回答
発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶニーズがあるか	○/×
電源を特定するニーズがあるか否か	以下の3つのいずれかに○を記入
a) 電源を特定して、長期契約を結びたい	
b) 電源を特定せず、長期契約を結びたい	
c) 契約の相手先や契約条件（価格、期間等）、電源種によりケースバイケース	

(3) - 1 - 5 :

(3) - 1 - 4の一番上の行の質問について、「○」と回答した場合、以下の設問に御回答ください。

発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶニーズがある理由	回答
需要家と長期契約を締結しており、電気の調達も安定させたいため	○/×
（需要家と長期契約を締結しているかどうかにかかわらず）電源の調達ポートフォリオの多様化をしたいため	○/×
その他	○/×

上記の質問の「その他」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような理由かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

(3) - 1 - 6 :

発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の課題について、課題の大きさに従って、「大」・「中」・「小」・「課題ではない」から御回答ください。

発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の課題	回答
一定の価格フォーミュラで契約することのリスクが存在（具体的なリスクを以下の選択肢から御回答ください。）	
a) スポット市場の価格が下落したときの機会損失	
b) 長期契約で調達した電源を長期にオフテイクしてくれる需要家がない	
c) 電気の調達と需要家への販売のフォーミュラが一致しない（例えば、調達はJKMリンク、販売はエリアの旧一般電気事業者の燃料費調整単価等）	
d) その他の理由	
自社の与信が低い等の理由で、発電事業者等が契約に応じない	
キャッシュフローの問題（金融機関から融資してもらえない、等）で、長期契約を結べない	
事業の予見性が無く、長期契約を結ぶ意思決定ができない（社内の稟議が通らない）	
小売電気事業を長期間行う予定が無く、長期契約のニーズが無い	
発電事業者等と契約の条件が見合わない（以下の a～d のそれぞれの要素について、御回答ください）	
a) 契約量（相手方の希望の数量が多すぎる、等）	
b) 価格（相手方の希望の価格が高すぎる、等）	
c) 契約期間（相手方の希望の契約期間が長すぎる・短すぎる、等）	
d) その他の契約条項（自由記入）	
その他（自由記入）	

上記の質問の「d) その他の理由」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような理由かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

上記の質問の「d) その他の契約条項」について、「○」と回答した場合、具体的にどのような契約条項かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

上記の質問について、契約内容や条件によって課題が異なりうる等、留意すべき点があれば以下に御回答ください。（自由記入）

--

(3) —1—7 :

発電事業者等と長期契約（1年超～3年未満）を結ぶ際の課題について、課題を解決するための手段として思いつくことがあれば、以下に御回答ください。（自由記入）

--

(3) —1—8 :

発電事業者が産油国と燃料の長期契約を締結し、燃料を長期・安定的に輸入することを促すためには、発電事業者と小売電気事業者の間でも電気の売買の長期契約を締結することが必要となります（発電事業者が小売電気事業者と電気の売買の長期契約を締結していなかった場合、調達する燃料の費用以下に電力市場や短期の電力相対契約等の価格が下落した場合、発電事業者にとっては損失を出すリスクとなるためです）。

発電事業者と電気の売買の長期契約（1年超～3年未満）を締結するとした場合、以下について、御回答ください。

質問	回答
火力発電が特定された形で売買契約を締結することが可能か。	可能／不可能
上記が不可能の場合、その理由は何か。	
a) 自社の調達における CO2 排出係数が長期にわたって高まるため	○／×
b) その他	(自由記入)
発電事業者との契約価格を変動価格とした場合、エリアの旧一般電気事業者の燃料費調整単価以外で変動する価格（※）での締結は可能か。	可能／不可能
上記が不可能の場合、その理由は何か。	
a) 調達価格の変動をヘッジする手段を持たないため。	○／×
b) その他	(自由記入)

【回答における留意点】

（※）例えば、原油価格リンクやヘンリーハブ等の変動にリンクした形での契約が考えられます。

(3) —2 : 1年契約

(3) —2—1 :

発電事業者等と1年契約の実績があるか否か御回答ください。

ある／なし

(3) - 2 - 2 :

発電事業者等と1年契約を結ぶ際の貴社の取引方法について、取引実績があれば(「(3) - 2 - 1」の回答が「ある」であれば)、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの取引方法について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その取引方法の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引方法	取引実績(割合)(※)	希望
個別交渉による相対契約	%	○/×
発電事業者独自の入札(マルチプライスオークション)による卸売契約	%	○/×
JEPX先渡市場	%	○/×
ベースロード市場	%	○/×
ブローカーを介さない先物取引(電気の現物の売買はJEPXスポット市場経由)	%	○/×
ブローカー市場(先物取引。電気の現物の売買はJEPXスポット市場経由)	%	○/×
ブローカー市場(現物取引)	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引方法かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

それぞれの取引方法または1年契約全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(3) - 2 - 3 :

(3) - 2 - 2の取引方法にかかわらず、数量や価格の条件について、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの条件について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その条件の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引条件(※1)	取引実績(割合)(※2)	希望
確定数量(ベース商品)、固定価格	%	○/×
確定数量(ミドル商品)、固定価格	%	○/×
確定数量(ベース商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
確定数量(ミドル商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
変動数量、固定価格	%	○/×
変動数量、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引条件かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

それぞれの取引条件または1年契約全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※1) ベース商品とミドル商品について、それぞれ以下のような形の商品を想定していません。または、これらの例に外れるとしても、社内定義や区分が別途存在していれば、それに即して御回答いただく形でも構いません。

ベース商品：24時間連続の受渡し商品。平日や休日だけに限定したベース商品に関しても、この区分とする。

ミドル商品：1日のうち、12時間程度連続の受渡し商品(例えば8時から20時までの電力受渡し等)。平日や休日だけに限定したミドル商品に関しても、この区分とする。

(※2) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(3) - 2 - 4 :

(3) - 2 - 2に関連して、特に、内外無差別な卸売りの方法として、主流になってきている、①個別交渉による相対契約、②発電事業者独自の入札(マルチプライスオークション)による卸売契約、③ブローカー市場の活用について、その取引方法が望ましいか否かや、評価等を御回答ください。取引実績のない卸売りの方法についても御回答ください。

①個別交渉による相対契約	評価
この取引方法は小売電気事業者として望ましい方法か	望ましい／望ましくない
(望ましい場合) その理由	(自由記入)
(望ましくない場合) この契約方法に課題はあるか	(自由記入)
②発電事業者独自の入札 (マルチプライスオークション) による卸売契約	評価
この取引方法は小売電気事業者として望ましい方法か	望ましい／望ましくない
(望ましい場合) その理由	(自由記入)
(望ましくない場合) この契約方法に課題はあるか	(自由記入)
③ブローカー市場の活用	評価
この取引方法は小売電気事業者として望ましい方法か	望ましい／望ましくない
(望ましい場合) その理由	(自由記入)
(望ましくない場合) この契約方法に課題はあるか	(自由記入)

(3) - 3 : 短期契約 (1年未満)

(3) - 3 - 1 :

発電事業者等と1年契約の実績があるか否か御回答ください。

ある／なし

(3) - 3 - 2 :

発電事業者等と短期契約（1年未満）を結ぶ際の貴社の取引方法について、取引実績があれば（「(3) - 3 - 1」の回答が「ある」であれば）、取引実績の割合（kWh ベース）を御回答ください。また、それぞれの取引方法について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その取引方法の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望（今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」）を御回答ください。

取引方法	取引実績（割合）（※）	希望
個別交渉による相対契約	%	○/×
発電事業者独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約	%	○/×
JEPX 先渡市場	%	○/×
ベースロード市場	%	○/×
ブローカーを介さない先物取引（電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（先物取引。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由）	%	○/×
ブローカー市場（現物取引）	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引方法かを以下に御回答ください。（自由記入）

--

それぞれの取引方法または短期契約（1年未満）全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。（自由記入）

--

【回答における留意点】

（※）割合を合計すると 100%になるように御回答ください。

(3) - 3 - 3 :

(3) - 3 - 2の取引方法にかかわらず、数量や価格の条件について、取引実績の割合(kWhベース)を御回答ください。また、それぞれの条件について取引実績があるかどうかにかかわらず、今後その条件の取引を行いたい、取引量を増やしたいかどうかの希望(今後取引を行いたい・取引量を増やしたいという希望があれば「○」、今後取引を行いたくない・取引量を減らしたいということであれば「×」)を御回答ください。

取引条件(※1)	取引実績(割合)(※2)	希望
確定数量(ベース商品)、固定価格	%	○/×
確定数量(ミドル商品)、固定価格	%	○/×
確定数量(ベース商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
確定数量(ミドル商品)、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
変動数量、固定価格	%	○/×
変動数量、燃料費調整単価等に連動した変動価格	%	○/×
その他	%	○/×
合計	100%	—

上記の質問の「その他」について、取引実績ありとしたり、希望を「○」と回答した場合、具体的にどのような取引条件かを以下に御回答ください。(自由記入)

--

それぞれの取引条件または短期契約(1年未満)全般について、特筆すべき課題等があれば以下に御回答ください。(自由記入)

--

【回答における留意点】

(※1) ベース商品とミドル商品について、それぞれ以下のような形の商品を想定しています。または、これらの例に外れるとしても、社内定義や区分が別途存在していれば、それに即して御回答いただく形でも構いません。

ベース商品: 24時間連続の受渡し商品。平日や休日だけに限定したベース商品に関しても、この区分とする。

ミドル商品: 1日のうち、12時間程度連続の受渡し商品(例えば8時から20時までの電力受渡し等)。平日や休日だけに限定したミドル商品に関しても、この区分とする。

(※2) 割合を合計すると100%になるように御回答ください。

(3) - 3-4 :

特に燃調調達の最終的な意思決定のタイミングである実需給の3か月程度前のタイミングにおいて、電力の取引を活性化することが重要だと考えられます。①ブローカー市場（現物取引、先物取引両方）、②JEPX 先渡市場、③先物市場（ブローカーを介さないものに限る。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由。）の3つについて、それぞれどのような課題や改善策があると考えますか。課題の大きさに従って、「大」・「中」・「小」・「課題ではない」から御回答いただくとともに、課題の改善策について、以下に御回答ください。

① ブローカー市場（現物取引、先物取引両方）

課題	課題の大きさ	改善策（自由記入）
流動性が低い		
価格シグナルの信頼性が低い		
手数料等（※1）が高い		
預託金・証拠金等（※2）が高い		
希望する商品設計（取引期間、ベース商品・ミドル商品等）がない		
会計上の問題（ヘッジ会計が扱えない等）がある		
その他（自由記入）	（その他の課題がある場合、具体的な課題と、課題の大きさ、改善策について、御回答ください。）	

② JEPX 先渡市場

課題	課題の大きさ	改善策（自由記入）
流動性が低い		
価格シグナルの信頼性が低い		
手数料等（※1）が高い		
預託金・証拠金等（※2）が高い		
希望する商品設計（取引期間、ベース商品・ミドル商品等）がない		
会計上の問題（ヘッジ会計が扱えない等）がある		
その他（自由記入）	（その他の課題がある場合、具体的な課題と、課題の大きさ、改善策について、御回答ください。）	

③ 先物市場（ブローカーを介さないものに限る。電気の現物の売買は JEPX スポット市場経由。）

課題	課題の大きさ	改善策（自由記入）
流動性が低い		
価格シグナルの信頼性が低い		
手数料等（※1）が高い		
預託金・証拠金等（※2）が高い		
希望する商品設計（取引期間、ベース商品・ミドル商品等）がない		
会計上の問題（ヘッジ会計が扱えない等）がある		
その他（自由記入）	（その他の課題がある場合、具体的な課題と、課題の大きさ、改善策について、御回答ください。）	

【回答における留意点】

（※1）電力取引や金融取引そのものに係る代金以外に追加で取引所等に支払いが必要な代金を「手数料等」と記載しています。

（※2）取引の担保等のために、一時的に取引所等に預け入れ、取引の決済後には返済される代金を「預託金・証拠金等」と記載しています。（※1）に記載の「手数料等」とは異なります。

(3) —4：その他

個別交渉による相対契約や発電事業者独自の入札（マルチプライスオークション）による卸売契約の個別の契約条項について、以下の質問に御回答ください。

質問	回答
① 小売電気事業者の購入量について、その小売電気事業者の小売需要等を購入上限として設定されている場合がある。これについてどう考えるか。	問題ない／問題あり
② 上記が問題ありの場合、その理由は何か。	自社需要が上振れる場合があり、多めに電気を調達しておきたいため／他市場で転売するなど、トレーディングを行いたいため／その他（自由記入）
③ 転売禁止条項が設定されている場合がある。これをどう考えるか。	問題ない／問題あり
④ 上記が問題ありの場合、その理由は何か。	自社需要が下振れる場合があり、余剰インバランスになる恐れがあるため／他市場で転売するなど、トレーディングを行いたいため／その他（自由記入）
⑤ 発電事業者がエリア内の小売電気事業者のみに販売をしている場合や、エリア外にも販売はしているものの、販売量を制限している場合がある。これをどう考えるか。	問題ない／問題あり
⑥ 上記が問題ありの場合、その理由は何か。	他エリアの発電事業者から電気が購入できない場合、購入機会が減るため／その他（自由記入）
⑦ その他の契約条項について、御意見があれば御記入ください。	（自由記入）

(4) 需要家に提供する小売電気料金メニューの形態

需要家に対して、どのような小売電気料金メニューを提供しているか、電圧区分ごとに御回答ください。なお、経過措置規制料金については、回答の対象外とします。

料金形態	特高	高圧	低圧
固定価格	○/×	○/×	○/×
エリアの旧一般電気事業者の燃料費調整単価に合わせて価格が変動するメニュー	○/×	○/×	○/×
エリアの旧一般電気事業者の燃料費調整単価以外の形で、独自に自社の電気の調達ポートフォリオに合わせて価格が変動するメニュー（ただし、スポット市場や時間前市場の価格との連動項は含まない）	○/×	○/×	○/×
スポット市場や時間前市場の価格と一部連動するメニュー	○/×	○/×	○/×
スポット市場や時間前市場の価格と完全に連動するメニュー（※）	○/×	○/×	○/×
その他	○/×	○/×	○/×

上記の質問の「その他」について、「○」と回答した場合、具体的にどのようなメニューかを以下に御回答ください。（自由記入）

--

【回答における留意点】

（※）30分コマ単位ですべてのコマの料金が連動する設定でなく、例えば、1か月平均の市場価格と1か月の料金単価が完全に連動ずるといったメニューもここに含みます。

(5) 自由記載欄

全体を通じて、何か御意見があれば、御回答ください。

--